

R 4 1 3 8 商流活用のマーケット調査の結果

(令和4年度品目団体輸出力強化支援事業)

一般社団法人日本青果物輸出促進協議会
(和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会)

令和4年(2022年) 11月2日から11月7日;ロサンゼルス

A:米国 かき（刀根早生） 4138

渡航期間（2022年11月2日～11月7日）

➡ 輸出青果物の販促実施方法及び内容

- ・ 和歌山県産刀根早生柿 計9.1トン を船便で2回に分けて出荷
- ・ 販売店舗はTokyo Central 7店舗、Marukai 4店舗の計11店舗
- ・ 販売期間は11月3日～（1便目）、11月17日～（2便目）

➡ 店頭販売の様子



（画像）Tokyo Central店舗での販売状況

A:米国 かき（刀根早生） 4138

渡航期間（2022年11月2日から11月7日）

- かきの販売状況等（インポーター、バイヤーより聞き取り）
 - ・和歌山県産刀根早生柿の販売価格は7.99 \$ /lbで販売開始。
 - ・和歌山県産を含む日本産柿はCA産と比べて食味（甘さ）がよく、大きさも大きく見栄えが良い。CA産との差別化のため大きいサイズを中心にしてもらったほうが販売しやすい。
 - ・日本産柿の主な購買層は中華・韓国系。そのため柿の売上が最も大きい店舗は中華系の富裕層が多く住んでいる地域となる。
 - ・中国、韓国系の富裕層は箱入りの商品を好むので、ギフト箱の対応や果実へのブランドシール貼り付けができると販売が伸びるだろう。

現地産かきとの比較（Tokyo Central店頭販売果実）

産地	品種	数量（トン）	輸送方法	店頭販売価格（\$/lb）	販売期間
和歌山県産	刀根早生	9.1	船便	7.99	11/3~、11/17~
米国産	富有、蜂屋	—	—	2.19~3.99 5.99（オーガニック）	11月上旬~

A:米国 かき（刀根早生） 4138

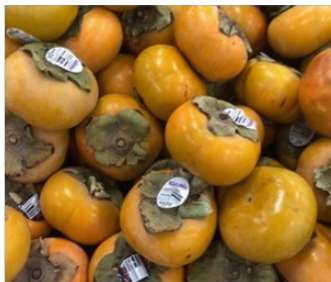
渡航期間（2022年11月2日から11月7日）

かき市場調査

- ロサンゼルス市内のアジア系（日・韓・中）、米系スーパー等計12店舗において柿の取扱状況や柿を含む青果物の販売状況を調査



日系スーパー
2.49\$/lb



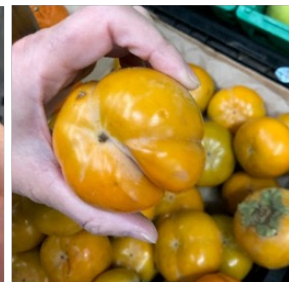
米系スーパー
3.49\$/lb



韓国系スーパー
1.79\$/lb



日系スーパー
3.49\$/lb



日系スーパー
1.99\$/lb

- 米国産の品種は富有、蜂屋
- 慣行栽培のものが1.99～3.49\$/lb、オーガニックが5.99\$/lbで販売

A:米国 かき（刀根早生） 4138 渡航期間（2022年11月2日から11月7日）

■ まとめ

- ・ 現地産かきのシーズンが始まったところであり、米系、アジア系（日、中、韓）スーパーマーケットチェーンでは広く販売されていた。
- ・ バイヤーが求める品質は固く、販売期間中も軟化しづらいもの。
それに加えて現地産と比べて高価格での販売となるため、大玉かつ外観の良さも重視。
- ・ 到着果実の品質について、船便での長期輸送の影響により軟化が始まっているものが見られ、バイヤーも販売期間中の軟化を懸念。
- ・ 柿やりんごではクリスピー（固い）な食感をアピールして販売していることが市場調査でも確認でき、シャキツとした固い柿が好まれることが明白。